令和６年度治山・林道工事コンクール審査の経過紹介

令和６年度治山・林道工事コンクールの審査結果について、審査委員を代表してご紹介いたします。

１　コンクールの対象工事は、令和５年度に完成した治山工事454件及び林道工事320件、合わせて774件でした。

２　昨年12月10日に林野庁で、学識経験者等で構成する審査委員会を開催し、各森林管理局で審査し、推薦のあった工事について、農林水産大臣表彰工事として治山工事と林道工事でそれぞれ１件、林野庁長官表彰工事として治山工事と林道工事合わせて32件を選定しました。

３　いずれも甲乙つけ難く、選考には大変苦労しましたが、農林水産大臣表彰工事として、治山工事では「小山地区（角取山１外）直轄治山工事（R4ゼロ国）」

（関東森林管理局から推薦）を、林道工事では「藤目谷林業専用道新設工事」（近畿中国森林管理局から推薦）を選定しました。

治山工事の「小山地区（角取山１外）直轄治山工事（R4ゼロ国）」については、２工区において治山ダム５基と流路工、丸太法枠工等の複数工種を実施した工事でしたが、ＩＣＴ技術を活用し、計画的な工程管理や施工管理を行い、作業の効率化が図られていました。

現場環境改善にも工夫が見られ、現場事務所に環境を配慮した太陽光発電及び蓄電池を設置し電力を確保していました。また、静岡県産材加工丸太を外壁とし、木材利用に取り組んでいました。地域社会貢献としては、インターンシップの学生を受け入れ、治山事業への理解を図り、人材の確保に取り組まれていました。

林道工事の「藤目谷林業専用道新設工事」については、各種作業でＩＣＴ技術を活用し、作業の効率化が図られていました。コンクリート擁壁の施工において、型枠資材や支保を増やし、滑らかな曲線の型枠を設置しており、曲線美が素晴らしい施工となっていました。また、流路工の流末に、現地で発生した自然石を利用した流路を設置するなど工夫が見られました。地域社会貢献としては、地域の学校で出前講座を実施し、林業や林道工事への理解促進に取り組まれていました。

このほか、林野庁長官表彰工事として、治山工事17件、林道工事15件、合わせて32件を選定しましたが、いずれも農林水産大臣表彰に劣らぬ優れた工事として高い評価がなされていました。

４ 受賞された治山・林道工事に関係された皆様に、この間の取組への敬意を表します。今後とも業界の模範として更に研鑽され、施工技術の一層の向上と安全施工の徹底、治山・林道事業の意義を広く国民の皆様に情報発信していただくようお願いいたします。

令和７年２月18日

令和６年度治山・林道工事コンクール審査委員会

審査委員長 宇　山　雄　一